

令和2年9月9日

総務文教常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 令和2年9月9日
開会 11時10分 閉会 11時20分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 東口隆弘 副委員長 田口廣之
委員 藤谷謹至 小島智恵 小川純文 中橋友子
議長 寺林俊幸
- 4 傍聴者 酒井はやみ 野原恵子 谷口和弥
- 5 事務局 事務局長 萬谷司 議事課長 半田健 係長 遠藤寛士
- 6 審査事件および審査結果
 - 1 付託された議案の審査について（別紙）
 - (1) 陳情第3号 「「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情書
 - 2 所管事務調査項目について
前回の所管事務調査にて、学校施設改修計画の改修項目と概算費用について、資料提供をお願いしていたが、資料が完成したとのことであった。資料に基づき、学校教育課から説明を受けることにした。
 - 3 政策提言について
正副委員長にて素案を作成する。その後、追加や修正等をしていただくことにした。
 - 4 所管事務調査報告書について
 - 5 その他
 - (1) 閉会中の継続調査申し出について

総務文教常任委員会委員長 東口隆弘

◇審査内容

(開会 11:10)

- 委員長（東口隆弘） ただ今から、総務文教常任委員会を開会いたします。
これより、インターネット中継を始めます。
本日、お手元にお配りの次第どおりに進めてまいりたいと思います。
まず、1番、付託された陳情の審査をおこないます。
陳情第3号、「「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情書を議題といたします。
本陳情について、各委員のご意見を伺いたいと思います。
ご意見のある方は挙手をお願いいたします。
中橋委員。
- 委員（中橋友子） この陳情の中身につきましては、昨年度も、また一昨年度も、若干内容は変わってきてはおりますけれども、提出され、意見書が出されてきたものと認識しております。義務教育の国庫負担の削減を元に戻してというのは、北海道幕別地区連合会からの要望でありますけれども、今、全国的な要望となりまして、予算の増額というのは、このたび、全国知事会、全国市長会、全国町村会も提出しております。こういうふうの中身は、若干、表現は違うのですけれども、少人数学級を求めるということに端を発して、こういった教職員の多忙化なども含め、今10万人の教員増が必要だということによって全体が解決していくというような視点で、1兆円の要求というふうにもなっています。従いまして、幕別町としてもこういった大事な時期でありますから、提出すべき内容であると理解をいたしております。
- 委員長（東口隆弘） ほかにご意見のある方、いらっしゃいませんか。
(なしの声あり)
- 委員長（東口隆弘） なしの声がありました。よろしいでしょうか。
(なしの声あり)
- 委員長（東口隆弘） それではご意見、1人でございました。討論をするまでもないかと思っておりますので、討論を省略をいたし、採決をしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。
(異議なしの声あり)
- 委員長（東口隆弘） 陳情第3号、「「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情書については、採択ということによろしいですか。
(異議なしの声あり)
- 委員長（東口隆弘） 異議なしと認めます。
したがって、陳情第3号、「「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書」の提出を求める陳情書については採択することに決定しました。
なお、本件の報告書、意見書案につきましては、委員長と副委員長に一任をして

いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○委員長（東口隆弘） それでは、そのようにさせていただきます。

以上で本委員会のインターネット中継を終了いたします。暫時休憩をいたします。

(暫時休憩)